

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育実習Ⅱ(保育所)		森下 剛・梨子千代美	実習	2	前期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	保育士資格選択必修			
学習目標	<p>保育者として、乳幼児に対する適切な保育を行うことができるようになるために、</p> <p>(1) 保育所での子どもの実態に即した保育内容を理解し、援助方法を身につける。</p> <p>(2) 保育所での子どもの実態と保育目標に応じた保育を展開するために指導計画の作成と実践について具体的に学ぶ。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	保育実習Ⅱの目的と実習上の留意点	保育実習Ⅰを踏まえて、保育実習Ⅱで求められる実習内容について理解する。			
2	保育実習の目標	実習生としての心構え、実習に必要な書類の配布、事務手続きについて			
3	校外実習(12日間・90時間)	<p>保育所(主に私立)での実習を通して、子どもとの関係を築き、保育士の補助的な仕事を行いながら、主に、以下の点について実践的に学ぶ。</p> <p>①子どもの育ちと保育実践の観察と記録</p> <p>②指導計画の立案と子どもに対する援助方法の実際</p> <p>③保育士としての服務</p> <p>④保育所の機能と役割</p>			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15	実習の省察	実習を省察しながら、今後の課題とその解決方法を見出す。			
参 考 書	<p>森上史朗・大豆生田啓友編「幼稚園実習 保育所・施設実習」ミネルヴァ書房 2004</p> <p>岡本拓子編著「実習に役立つ表現遊び1」北大路書房 2007</p>				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	<p>専門科目の単位取得状況、校外実習前の担任・実習担当者による評価結果により、校外実習への参加の是非を決定する。なお、保育所での実習は、2年次8月に12日間行う。欠勤・遅刻のないようにすること。</p> <p>自己学習・学外学習:活動案・日案の作成と責任実習に必要な教材研究。</p>				
評価の方法と時期	出席状況、学習状況、実習園からの評価表、実習ノートを総合して評価する。				

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育実習Ⅲ		福田 智雄（他）	講義・実習	2	前期～8月
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	保育士資格選択必修			
学習目標	施設に具体的に就職を考える学生に対し、保育実習Ⅰにおける施設実習の基礎の上に、より詳細な施設の役割、あり方を講義する。その上で、施設での実習を行い実践的な力を育成する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	実習のあり方について	実習Ⅰで実習した施設での学習内容の再確認を行う。			
2	実習先の概要について	実習対象施設の特徴、留意点を確認する。			
3	実 習	対象施設において、90時間の実習を行う。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15	今後の課題について	実習施設からの評価をもとに、今後の学習の仕方を学ぶ。			
参 考 書	①大学から配布する「施設実習の手引き」②講師作成のレジメ				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	就職との関連があるため、履修希望者は事前にならざる担当者との面談すること。				
評価の方法と時期	授業の出席状況、実習施設からの評価、実習ノートを総合して評価する。				